

第1回リユース・リサイクル部会会議録

1. 日 時

平成17年8月29日 15時20分～16時20分

2. 場 所

塩谷広域行政事務組合 1階大会議室

3. 出席者

| 職 名 | 氏 名 |
|-----|-------------------|
| 部会長 | (学識経験者) 小久保行雄 |
| 委員 | (矢板市) 長谷川建 |
| | (さくら市) 天野順子 関 忠司 |
| | (塩谷町) 立岡芳司 |
| | (高根沢町) 飯泉八重子 |
| | (地元住民代表) 岡田 明 |
| | (アドバイザー) 中村祐司(欠席) |
| 事務局 | (日本技術開発) 中山伸吾 |

4. 議事項目

- ・現在、各市町で取り組んでいる項目の整理
- ・取り組んでいる項目の中で浸透していない項目の整理
- ・今の取り組みをさらに進めるために必要な啓発・PR活動について
- ・新たに取り組める項目の検討
- ・その他

5. おもな意見等

- ・さらなる資源化が期待される品目として、生ごみ、プラスチック類、紙類が考えられる。
- ・資源化に向けての課題としては、高齢化対策、自治体間の分別品目の統一化、意識徹底のための施策が挙げられる。
- ・各市町にいる保健委員の活動状況を調査し、改善すべき点は改善する必要がある。
- ・分別品目については、将来的には2市2町で統一を目指すことが望ましいと考える。
- ・今後の検討として、次回はプラスチック類について、次々回は紙類について検討することとする。
- ・事務局で、2市2町の分別品目、収集回数などをまとめた資料を提示する。

6. 会議録

副部会長の選出

資料の説明

部会長より資料の説明があった。

- ・再使用、再資源化については、非常に多くの項目がある。本部会において、可能な限り議論し、提言していきたく考える。

【副部会長】

- ・地元で敬老会というものがあり、40人程度で施設見学会を行ったのだが、そこで3Rという言葉を出したときに内容を理解していた人は、1名のみであった。本部会の名称でリデュース、リユース、リサイクルという言葉はあるが、もう少しわかりやすい名前にしていただきたい。

【委員】

- ・生ごみの量およびプラスチック類の量が非常に多いと思う。これらを資源化できれば焼却する量は大きく減らせると考える。

【部会長】

- ・現在、可燃ごみ中の約3割が厨芥類、それにプラスチック類や紙類が多く含まれている。

【副部会長】

- ・現在、矢板市の委員会にも出席しているが、2市2町が同じ方向に向かっていけるかが課題と考える。

【委員】

- ・各市町の分別品目の統一が必要と考える。また、住民の協力を得ていくための施策が必要となる。ごみ袋に個人名を書いてもらうのも1つの案だと思う。

【部会長】

- ・方法としては2点考えられる。1つは厳しく取り締まること。もう1つは住民が排出しやすい方策をとることである。

【委員】

- ・現在、資源物として収集されていない品目はあるか。

【委員】

- ・ほとんど資源化されており、雑紙についても収集されている。

【委員】

- ・各家庭で雑紙が思うように資源物として排出されないのは、新聞紙の束に折り込んで排出する方法だからであると考えられる。

【副部会長】

- ・分別品目を多数にしている自治体はあるが、逆に分別が徹底されなくて当番制で監視を行っているところがあるようである。また、1つの課題として、高齢者がステーションまでごみを輩出するのが困難であることがある。

【委員】

- ・前回委員会の資料2の住民に対する広報啓発活動の所で、2市2町とも保健委員会等での説明とあるが、これがほとんど機能していないと考える。

【副部長】

- ・矢板市では20～700世帯に1人の保健委員がついている。保健委員の活動状況は地区によって様々である。したがって、状況を調査し、必要な改善を図るべきである。

【委員】

- ・ステーションの管理ができていない問題がある。

【部長】

- ・色々な意見が出されているが、テーマを整理して検討していきたく考える。

【委員】

- ・結果によっては行政に要望する事項も出てくると考える。

【部長】

- ・これが出来れば改善できる、という点を提案できれば望ましい。

【委員】

- ・2市2町の分別基準を統一してほしい。

【副部長】

- ・紙類とプラスチック類の分別が徹底されれば焼却量は非常に削減されるだろう。

【委員】

- ・プラスチック類を焼却することにより、有害なガスが発生する可能性が考えられる。

【委員】

- ・紙類の資源化について、新聞紙のように束にして輩出する物は比較的資源物として排出されやすいが、雑紙については、非常に難しい。また、プラスチック類については、外側に食品が付着していることが多い。

【委員】

- ・私は2人暮らしであるが、排出するごみの量は多くないと感じている。また、資源化に向けた取組みとして、窓付き封筒のフィルム部分は切断して雑紙として排出している。

【副部長】

- ・次回部会の時には、事務局で2市2町の分別品目、収集回数などがわかる表を提示してほしい。

【事務局】

- ・了承する。

リユース・リサイクル部会終了